

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL (3404) 7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。



打ち合わせ中の井上院長

今年の医療活動を語る

代々木病院院長に インタビュー

いま、代々木病院は、地域の人たちから求められる医療にどう応えようとしているか、とりくみや課題を井上均代々木病院院長に聞きました。

医療をめぐる状況は

「いま、治療は終わったので、退院してほしいと病院から迫られているのだが、すぐには自宅に戻れる状況ではなく、困っているという相談が増えています」

医療をめぐる状況はどうなっているのでしょうか。

井上 この間、社会問題となった医師不足等により、東京都内は救急・小児・産婦人科体制は貧困な状態です

が、高度急性期病院は林立し、面積あたりの病院数は日本一です。そして、都内の一般病床の過半数がDPC(診断群分類別包括評価)病院となり、短い期間で集中的治療を終了して退院になるという流れが加速しています。

安心できる医療体制

「代々木病院はこの間、回復期リハビリ病棟などを立ち上げて安心して自宅に戻れるよう支援する医療に力を注いできましたね」

井上 回復期リハビ

に帰れるようしっかりとリハビリテーションを行うこと、在宅に戻っていただくための介護サービスの準備などの調整期間が必要となります。

リハビリテーションを重点的に提供し 在宅復帰を支援する機能を強化します

社会保障の改善急務

「この間、「年越し派遣村」など相談会に病院からも参加して相談を受けてきました。経済的な問題などで受診できない方が増えています」

井上 代々木病院の外來にも病状が悪化してしまっからようやく受診する人が増えていきます。ただ入院治療が必要な方も、「仕事が休めないか

「この間、「年越し派遣村」など相談会に病院からも参加して相談を受けてきました。経済的な問題などで受診できない方が増えています」

「この間、「年越し派遣村」など相談会に病院からも参加して相談を受けてきました。経済的な問題などで受診できない方が増えています」

「この間、「年越し派遣村」など相談会に病院からも参加して相談を受けてきました。経済的な問題などで受診できない方が増えています」

「この間、「年越し派遣村」など相談会に病院からも参加して相談を受けてきました。経済的な問題などで受診できない方が増えています」

「この間、「年越し派遣村」など相談会に病院からも参加して相談を受けてきました。経済的な問題などで受診できない方が増えています」

もうがまんも限界！ 廃止を！

後期高齢者医療制度

日時 **6月2日** 午後2時～4時
場所 **なかのZERO・小ホール**

参加費無料

手術台

6月という
と必ず思い
出すのは60
年安保闘
争、ことに
6・4ゼネ
ストである。あれか
ら50年が経とうとし
ている。あの大闘争
の中では、国を憂え
る多くの若者が躍っ
ていた▼今年、久し
ぶりに若者が躍って
いる。安保の時の若
者は工場で、学園で
群れを成していたが
いまは、一人ひと
りが自覚して派遣村
に集結し、反格差・反
貧困に静かな怒りの
炎を燃やしている。

かつては反戦平和がテーマだったがいまは生存権をかけた戦いである。安保のように派遣手に天を焦がす戦いではないが恐ろしく幅広く地を這うように横へ横へと広がる戦いの様相を示している。戦いの炎は地下をも這ってすべての人・分野に及ぼうとしている▼安保はたぐさんの人を育てたが、勝つことは出来なかった。今度は、自分の生活がかかっている「地べた」の戦いである。勝たなくては生きていけない。いまは、一気に立ち上がる日ももっと広く、横へ横へとつながっていく時期であろう。50年ぶりに栄光の歴史の6月にしたいものである。(ま)